

PAT-NO: JP352046969A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 52046969 A
TITLE: EDGE SHAVING CUTTER EDGE FOR ELECTRIC RAZOR
PUBN-DATE: April 14, 1977

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YANAGISAWA, NOBORU	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KK HAMASAWA KOGYO	N/A
SEIKO EPSON CORP	N/A

APPL-NO: JP50121580
APPL-DATE: October 8, 1975

INT-CL (IPC): B26B019/04 , B26B019/26

US-CL-CURRENT: 30/43.92 , 30/223 , 30/346.51

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily collect hair scrap and to accelerate shaving with structure that cutting angle formed by stationary and movable cutting edges is formed toward root portion of slits.

COPYRIGHT: (C)1977,JPO&Japio



(4,000円) 特 許 願 (A)

昭和 50 年 10 月 8 日

① 日本国特許庁

公開特許公報

特許庁長官 兼 廣 義 雄 殿

1. 発明の名称

電気かみそりのキワソリ刃

2. 発明者

長野県諏訪市湖岸通り2丁目5番11号

株式会社 浜澤工業大和工場内

代表取締役 西村 晋 雄

3. 特許出願人

長野県諏訪市湖岸通り2丁目5番11号

株式会社 浜澤工業

代表取締役 西村 晋 雄 (他1名)

4. 代理人

東京都渋谷区神宮前2丁目6番8号

(4664) 弁理士 最 上 務

連絡先 563-2111 内線223-6 担当 長谷川

5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書

方式審査

小川

(2) 図 面

(3) 委任状

1 通

1 通

1 通

明 細 書

発明の名称 電気かみそりのキワソリ刃

特許請求の範囲

歯状の固定刃と可動刃が圧接摺動して成る電気かみそりのキワソリ刃において、固定刃と可動刃によつて形成される切刃角 α がスリットの根元部方向 β に成すことを特徴とする電気かみそりのキワソリ刃。

発明の詳細な説明

本発明のキワソリ刃は固定刃と可動刃によつて切断する毛をスリットの閉口部側に向つて切り落すように刃先形状を構成したキワソリ刃を提供するものである。

従来のキワソリ刃における固定刃と可動の刃先形状の構成は、第1図(イ)に示すように固定刃、可動刃の両方とも矩形をして切刃角 α を成すことなく平行線を形成するもの、あるいは第1図(ロ)又は

⑪特開昭 52-46969

⑬公開日 昭52.(1977) 4.14

⑭特願昭 50-121580

⑮出願日 昭50.(1975) 10.8

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

1755 46

6755 46

6865 46

⑯日本分類

125 G320.1

125 G6

125 D130.1

⑰Int. Cl?

B26B 19/04

B26B 19/26

識別
記号

イ)に示すように固定刃は矩形で、可動刃は三角形又は台形で構成し、切刃角 α はスリットの根元部方向 β に形成するものが一般的であつた。これらはいずれも切断する毛はスリットの先端部側に、あるいは切れ落ちる方向性をもたずして切断されて飛び散るため、キワソリ刃による毛屑処理は集めづらく、飛散状態で周辺を毛屑で汚す不快さを残す欠点があつた。

本発明は、上記欠点に鑑みキワソリ刃の刃先形状の構成において、切断する毛をスリットの根元部側に向つて切り落すように固定刃と可動刃によつて形成される切刃角 α をスリットの根元部方向 β に成すようにしたものである。

以下本発明の実施例に基づいて説明すると、第2図(イ)に示すように固定刃、可動刃においてそれぞれ逆台形の刃先形状を有する固定刃1と可動刃2を組み合わせることによつて、いずれの部分においても固定刃と可動刃が形成する切刃角 α はスリットの根元部側に向つて成す、あるいは第2図(ロ)に示すように固定刃は矩形で、可動刃において逆台形

BEST AVAILABLE COPY

fixed blade

の刃先形状を有する固定刃1と可動刃2の組み合わせ、又第2図に示すように固定刃においてスリットの根元部側が一部逆台形で、可動刃は矩形の刃先形状を有する固定刃1と可動刃2を組み合わせることによつて、それぞれ実施例(1)と同様に切刃角 α はスリットの根元部側に成すため、切断する毛は常にスリットの根元部側に引き込む形で切り落とすと同時に、三角形の毛導入部aが形成されて捕らえられた状態で切り落されるので、従来のヤワソリ刃のように切断する毛がスリットの先端部方向に飛び散ることがなくなり、毛屑は集め易くなり、かみそり本体において毛屑処理の形態がより効果的に行なわれ、身辺を毛屑で汚す不快さやわずらわしさを解消することができるのである。なお、前記スリット形状は、直線の他に曲線で構成してもかまわない。

以上のように本発明は、ヤワソリ刃の固定刃と可動刃の刃先形状の構成に係り、上記実施例により毛屑の飛び散る方向がスリットの根元部側に向かい毛屑が集め易くなるので、ヤワソリ刃におけ

る集毛構造の形態がとれる重大な効果を有すると共に、切刃角 α がスリットの根元部方向 β に成すことによつて形成される三角形の毛導入部aが捕られた毛を逃さずに確実に切断できるため、スピーディにムダ毛等のひげそりを行なうことができる有効なヤワソリ刃である。

図面の簡単な説明

第1図は従来のヤワソリ刃における刃先形状を示す刃先部分平面図であり、第2図は本発明の実施例を示すヤワソリ刃における刃先形状の刃先部分平面図である。

1…固定刃

2…可動刃

α …切刃角

a…毛導入部

β …根元部方向

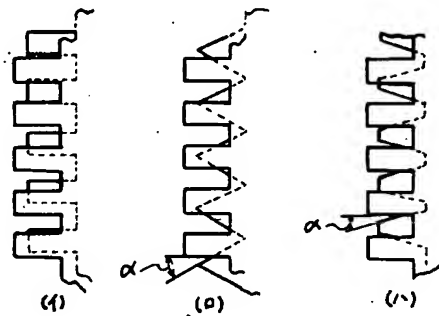
以上

代理人

最上



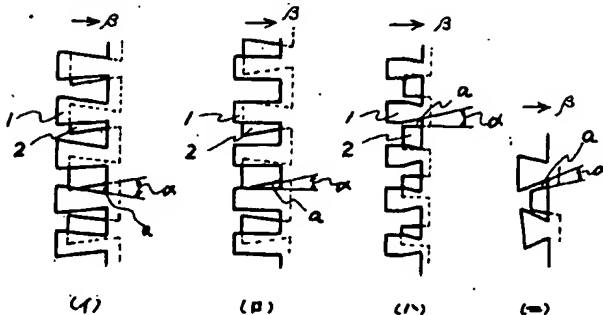
第1図



6. 上記以外の出願人

東京都中央区銀座4丁目3番4号
(236) 株式会社 殿 防 衛 工 会
代表取締役 西 村 留 雄

第2図



DIALOG(R)File 345:Inpadoc/Fam.& Legal Stat
(c) 2005 EPO. All rts. reserv.

2056177

Basic Patent (No,Kind,Date): JP 52046969 A2 770414 <No. of Patents: 001>

PATENT FAMILY:

JAPAN (JP)

Patent (No,Kind,Date): JP 52046969 A2 770414

EDGE SHAVING CUTTER EDGE FOR ELECTRIC RAZOR (English)

Patent Assignee: HAMASAWA KOGYO KK; SUWA SEIKOSHA KK

Author (Inventor): YANAGISAWA NOBORU

Priority (No,Kind,Date): JP 75121580 A 751008

Applic (No,Kind,Date): JP 75121580 A 751008

IPC: * B26B-019/04; B26B-019/26

JAPIO Reference No: * 010109M003262

Language of Document: Japanese